

吉島福祉だより

発行 吉島学区社会福祉協議会
発行責任者 会長 平本 祐二
発行年月日 令和3年（2021年）3月吉日



頑張ろう吉島!

希望を持って前に進もう



皆様におかれましては、初春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。2019年12月に中国・武漢市で報告された原因不明の肺炎は「COVID-19」（新型コロナウイルス感染症）と名付けられ、いまや世界中に拡散しています。日本人の初感染が発表されたのが昨年1月末、2月にはクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号での集団感染が発生。それから国内でも感染がじわじわと広がり始め、首都圏や全国主要都市では感染拡大の傾向がみられ広島市では3月初旬に初感染が報告されました。



（提供 藤崎 章様）

この様な状況の中、広島市・吉島学区に於いてもイベント（会議、研修、講座を含む）及びサロン等は自粛又は中止とせざるを得ませんでした。サロン等は昨年7月から広島市のイベント等の開催に関する基本方針に基づき開催しましたが令和2年12月12日から「第2次新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」が発表され現在は再び自粛又は中止の状態です。その為今年の「とんど祭り」は中止となりました。新型コロナウイルスの感染終息は、まだ見えません。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、一人ひとりの基本的感染対策である（1）身体的距離の確保、（2）マスクの着用、（3）手洗いそして3密（密集・密接・密閉）の回避を実践していきましょう。

2月8日から広島市の公共施設又はイベント等が利用又は必要な感染防止対策を講じた上で開催できるようになりました。本年もまだまだコロナウイルスの蔓延で耐え忍ぶ1年になるかもしれませんが、地道に突き進んで新たな発展の年となるように皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。

本年も何卒、よろしくお願いいたします。

吉島学区社会福祉協議会 会長 平本 祐二

おじゃまします

#6



広島市吉島地域包括支援センター
センター長 岡崎 貴光 様

今回は、吉島地区地域包括支援センター長の岡崎貴光さんをお訪ねしました。昨年9月、センター長に着任されました。この大役が務まるかどうかと多少の不安はあったようですが、長い経験と実績のある方なので、センター長にふさわしい方であることに違いありません。

岡崎さんのモットーは「地域の方との接点を持つこと」。顔見知りであり、何でも相談できる関係、相互に助け合う関係でありたいと強く思っておられます。しかしながら、包括支援センターは、地域全体に100%周知されているとは言えず、敷居が高いイメージがあり、サロンやカフェの方が話しやすいのかな？と感じることもあるそうです。なので、時間があればいろいろな所に出向いて、相談しやすい環境を作ることを心がけているそうです。

また地域の町内会長さん、民生委員さん、気くばりさん等々のご協力もお願いしたいと言われました。また「吉島多職種連携会議」が発足しており、医師や看護師、ケアマネージャー、理学療法士等々、多種多様な職業の方が集まって様々な問題点についての話し合いも行われているとのこと。コロナ禍の中、独り暮らしの高齢者や老々介護されている方々の支援はどうしたらよいのか？問題は山積ですが、何でもご相談に応じますので気軽に声をかけてください。

高齢者の総合相談窓口 広島市吉島地区包括支援センター

☎082-545-1123

♥最後にひとこと♥岡崎さんは愛妻と娘さんとお母様の4人家族。趣味はバイクとオーディオ。家では静かに過ごしていますと笑顔で話されました。

私たちの集いの場「吉島公民館」

コロナに負けない文化と笑顔を作ろう

2020年度はコロナ禍に振り回された一年間でした。多くの主催事業を企画しては中止の繰り返し。参加予定だった皆さんにもどれだけのご迷惑をおかけし、落胆させてしまったか。

そのような中でも、感染症が落ち着いた時期には公民館グループは積極的に活動され、ロビー展で成果発表もできました。3月27日には音楽とダンスのグループによる成果発表をインターネットでオンライン配信します。(詳しくは公民館だよりをご覧ください)

2月から公民館活動は再開され、図書の出借、印刷サービス、会議室の提供をはじめ、各種主催事業も実施していきます。

職員は日々、共用部分の消毒など感染対策を講じながら、皆さんの来館をお待ちしています。どうか吉島公民館を我がまちの活動拠点として、安心してご利用・ご活用ください。

また、引き続き公民館運営にご理解・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

館長 熊田 一雄



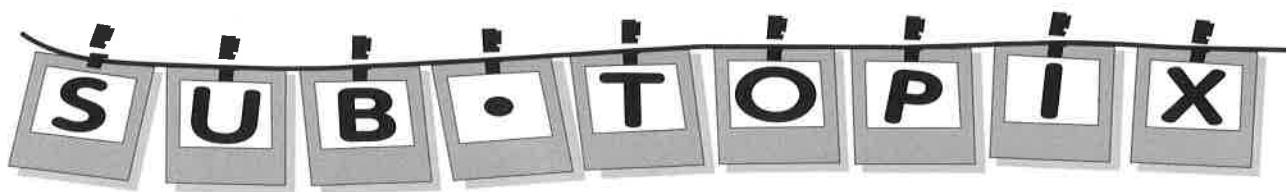
【職員さんから一言】

熊田 館長「吉島は、海が近く温暖で、釣りもでき、人々の温かいつながりで行事も盛んで…大好きな街です！」

上田 主事「吉島は、2本の川に挟まれ、海もあり、とても素敵なロケーションがあり最高です！」

山田 主事「吉島地区は地域活動がさかんなエリアですね。子育て支援から高齢者支援まで、行き届いていると思います。」

宮村 専門員「コロナ禍の中でも“みんなで描こう！地域の未来”を合言葉に、地域の皆様とともに明るい話題を提供できるようにがんばります。」



民俗芸能鑑賞会

昨年11月29日午後1時30分より、吉島連合女性会主催の「民俗芸能鑑賞会」を吉島公民館で行いました。

広島県内各地の神楽の舞、北広島千代田町壬生の花田植えなどを上映しました。おかげさまで、たくさんの方々が集まって頂き、無事終わることができました。これからは、若い人たちにもこれらの伝統を継承してもらって、いつまでも皆の心に残るような文化を未来につないでいってくださるようお願いいたします。

昨年の春から新型コロナウイルスという目に見えない菌の猛威で、いろいろな行事が中止となり、心が痛む日々が続いています。私達ひとりひとりが、うつさない、うつらないという気持ちでこの不安な時期を乗り越えて行きましょう。

今年は、たくさんの行事に参加できることを楽しみに、皆が一丸となり、頑張っていきたいと思います。笑える時代は、必ずやってくると信じて…。



連合女性会 (吉島西2丁目)

日山 洋子

楽しかった修学旅行

2020.12.17~18



おいてませ山口へ

特別な修学旅行

修学旅行で行く兵庫を楽しみにしていた。新型コロナウイルスの影響で延期になったが先生方の熱意で12月に山口県へ行く事になりました。参加する事に不安がありましたが、ホテルで普段話せなかったことを話したり、部屋でゲームをしたりして過ごしました。とても大切な時間になりました。色んな意味で特別な修学旅行だったけど、一番の思い出になりました。

(小野 成普)

ホテルと水族館

一番の思い出は、ホテルと水族館です。ホテルでは友達と、とても楽しい夜を過ごせたからです。水族館では、ペンギンが目の前で見られたし、イルカも目の前で見たし、イルカの人形も買ったのでとてもいい思い出になりました。また6年1組で修学旅行に行きたいです。

(能瀬 尊卓)

下関海響館

いちばん思い出に残っているものは下関海響館です。なぜなら、私はよくお父さんとつりをしているし、あまり魚に詳しくないので、色々なさかなを見れる良い機会だったからです。ゲームに出てくるさかなを実物で見れたのでとてもおどろきました。水族館にすら行ったことがなかったので、行けたことがうれしかったし、とても楽しかったです。

(岩本 水希)



(秋芳洞入口)



(古代を探る化石)



(吉田松陰邸)

神秘的な秋芳洞

ぼくは、修学旅行で秋芳洞にいきました。初めてみる鍾乳石や百枚皿がみれるのがうれしくてとてもワクワクしました。特におどろいたのが「黄金柱」という青や赤、黄色のまじった鍾乳石です。ぼくは、どうしてこんな色になるのかとても不思議に思いました。他にも百枚皿や竜のぬけ穴をみました。どれも神秘的でした。

(小川 陽翔)

ホテル

ぼくが一番たのしかった修学旅行の思い出は「ホテル」です。なぜかというと、友だちとたくさんはしゃげたり、はなしたり、いっしょにごはんを食べて、UNOやトランプをしてあそんで、とてもたのしくよるをすごせたからです。それに温泉もあたたかくて気持ちよかったし、みんなとしゃべって一日のつかれがとれたから、ぼくが一番たのしかった修学旅行の思い出は「ホテル」にしました。家そくと山口に次は行ってみたいです。

(有木 蓮)

部屋とおふろ

私達6年生は、12月中旬頃、山口に修学旅行へ行きました。最初は、コロナで行けるか心配だったけど、何とか行けたので良かったです。私が一番楽しかったのは、部屋とおふろです。理由は、部屋では唯一自由に出来たし、トランプとかで遊べたからです。おふろでは、なるべくしゃべらないようにしながら、みんなで泳いだからです。小学校生活の中で一番良い思い出になりました。

(大亀 葉那)

コロナ禍での修学旅行

今年の修学旅行は例年と違うものになりました。行き先も変わり、密をさけた行動となりました。行く前は「楽しくないだろうな」と思ったけど、行ったらとても楽しかったです。楽しくなったのは、先生やホテルの方、てん乗員さんなどのおかげです。ありがとうございます。

(井原 涼風)

おめでとうございます

広島市安全まちづくり功労表彰

篠原紀喜様
尾上真弓様

社会福祉協議会関係功労者

梅田哲司様
社会福祉事業共助者
福原久夫様

広島県共同募金会会長表彰

(共同募金運動奉仕功労者)
梅田哲司様



みんなで守る！子ども安全の輪 ＝登下校ボランティア＝



編集後記

いつもたくさんの情報提供にご協力頂きありがとうございます。今年もコロナ禍ではありますが、皆様にたくさんの情報を発信していきたいと思っております。ささいなことでも構いません、皆様から多くの情報をお待ちしております。お声かけ頂ければ福祉推進委員が取材に行きますのでよろしくお願いいたします。

福祉推進委員 小川太一

この他にも、たくさんの方が見守っています。